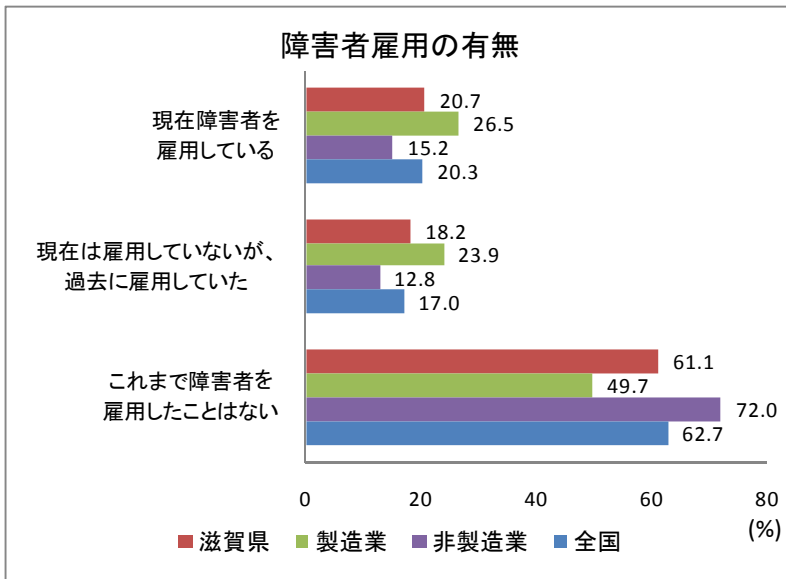


## 障害者雇用

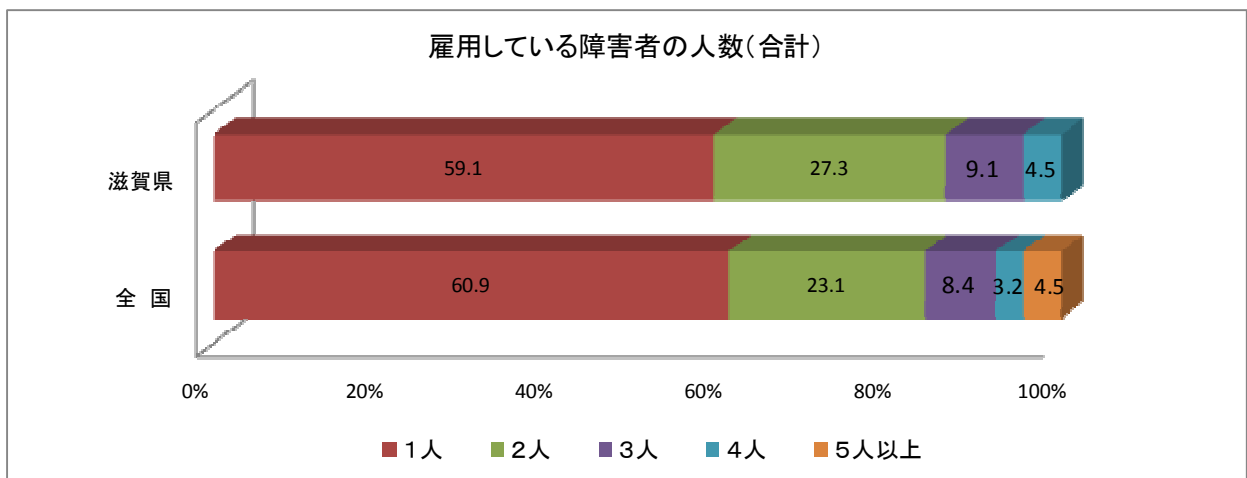


### 1. 障害者の雇用状況

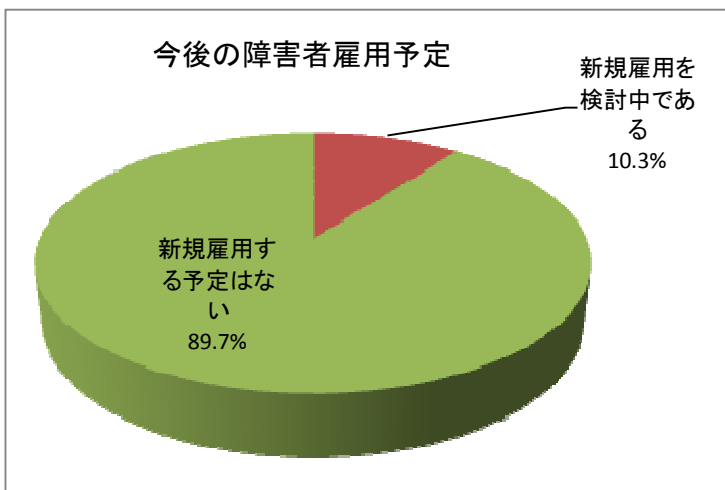
障害者の雇用状況について最も多く選択されたのは「これまで障害者を雇用したことはない」61.1%となり、業種別では製造業より非製造業において多く選択され、約7割の事業所が回答した。続いて「現在障害者を雇用している」20.7%、「現在は雇用していないが、過去に雇用していた」18.2%となった。

### 2. 障害者の雇用人数 (合計)

障害者雇用的人数 (合計) については「1人」59.1%、「2人」27.3%、「3人」9.1%と続いた。滋賀県では5人以上の回答がみられず、全国平均では4.5%となった。全体でみると全国平均との差はほとんどなく、平均人数は滋賀県1.59人、全国1.83人となった。



### 今後の障害者雇用予定



### 3. 今後の障害者雇用予定

今後の障害者雇用予定については「新規雇用を検討中である」10.3%、「新規雇用する予定はない」89.7%と高い割合で選択される結果となった。滋賀県では「新規雇用する予定がある」の回答はみられなかった。(全国結果0.5%)

#### 4. 障害者雇用にあたっての課題

障害者雇用にあたっての課題については「担当業務の選択」54.8%が最も選択され、\*「作業の効率性」34.9%、「職場設備の改善」33.5%と続いた。業種別にみると製造業・非製造業について1位は同様の項目となったが、2位以下は業種により課題の違いがみられた。

